

2026 度天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻【保健師コース】
一般選抜（Ⅱ期） 「専門科目」解答用紙

問題 1

【出題の意図】

統計データの基本的な読み取りができること、さらに、公衆衛生・看護の知識を活用してデータの背景を考えること、公衆衛生・看護として必要な活動を考える力を確認することを意図した。

【解答のポイント】

問1 「主要な部位別がん死亡率の推移」から、読み取った内容を述べなさい。

- ・性別に主要部位別のがん死亡率について、死亡順位とその推移を捉え、一つ一つ述べていること。推移は、短期のみでなく、長期的な動向についても読み取っていること。

問2 問1 で読み取ったがん死亡率の推移の背景について、考えられる事を述べなさい。

- ・死亡率推移について、全体的にがん死亡率が増加している背景には、高齢者人口の増加があること。主要部位別のがん死亡率では、検診や医療の進歩等の影響により減少しているがんがあること。喫煙や食習慣の変化、過度の飲酒等の生活習慣の変化が死亡率の増加に影響していること等が、主要部位別で述べられていること。

問3 がん死亡率の現状から考えられる、看護職が取り組む必要のあるがん対策・看護について述べなさい。

- ・生活習慣の改善やワクチン接種等の一次予防、検診による早期発見や早期治療等の二次予防の視点で述べられていること。さらに、質の高い治療やケアが受けられるような医療体制や環境整備、緩和ケアの充実、がんサバイバー支援、就労支援等の三次予防も述べられていると良い。

問題 2.

【出題の意図】

地域で家族を含めた高齢者の支援を考える上で重要となる高齢者虐待の基礎的知識を問う問題である。

【解答のポイント】

問1 高齢者虐待行為の種類を 5 つ挙げ、内容について説明しなさい

- ・「高齢者虐待防止法」で分類されている「身体的虐待」「心理的虐待」「経済的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」を挙げ、その定義を具体的な例を含めて説明していること

2026 度天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻【保健師コース】
一般選抜（I）「専門科目」解答用紙

問題 3

【出題の意図】

地域で出会う脳梗塞の事例について、看護基礎教育で学んだ看護過程を展開できる基礎的能力を問う問題である。疾患や症状等の病態と生活状況を総合的にアセスメントできること、家族を含めたヘルスニーズ（看護問題）を捉え、必要な支援を看護計画として示す力を確認することを意図した。

【解答のポイント】

問1 A さんについて疾患や症状等をふまえてアセスメントを行い、その内容を記述しなさい。

以下の視点でアセスメントされていること

- ・脳梗塞後遺症による左不全麻痺により移動や活動性について影響を受けていること、活動性の低下が続くことにより、筋力の低下、認知機能の低下等の問題が生じる可能性があること
- ・脳梗塞後遺症による嚥下機能の低下によるむせの継続、誤嚥性肺炎での入院の既往から、誤嚥による肺炎や窒息のリスクが継続していること。
- ・脳梗塞後遺症による誤嚥、不活動による食欲の低下、食事摂取量の低下、この状況が続くことにより低栄養の可能性のあること
- ・誤嚥の影響による水分摂取・食事摂取量の低下は、脱水のリスクとなること、また、便秘を薬で調整しているが、水分摂取の低下、活動性の低下により、便秘傾向の悪化が考えられること
- ・脳梗塞により麻痺が残り、ボディーイメージの低下が考えられ、本人の言動からも、役割の喪失、自尊感情の低下が考えられること

問2 A さんと家族の情報について、アセスメントして、その内容を記述しなさい。

以下の視点でアセスメントされていること

- ・介護者の介護、家事の状況、健康状態から、介護の負担は大きく、今後、健康状態が保てなくなると、介護を継続していくことが難しくなること
- ・介護者は、介護と家事の毎日で、外部とつながる機会が持てず、自身の生活の楽しみや気分転換ができずにいること

問3 A さんの事例で考えられるヘルスニーズ（看護問題）を列挙しなさい。

アセスメントで考えたヘルスニーズ（看護問題）に関連する要因を含めた表現になっていること。実在型健康課題、リスク型健康課題、ウェルネス型健康課題の側面から考えられていること

述べ方の例：脳梗塞後遺症による左不全麻痺、意欲低下による活動性の低下

介護と家事が中心の生活による介護者のストレスの増加、生活の楽しみの低下

2026 度天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻【保健師コース】

一般選抜（Ⅰ）「専門科目」解答用紙

問4 優先度の高いヘルスニーズ4つについて、目標を設定し、看護計画を立案しなさい。

- ・目標は、ヘルスニーズ（看護問題）の背景を踏まえた目標が設定されていること、療養者あるいは家族の目指す状態で設定されていること
- ・看護計画は、誰が見ても実施可能な計画であること、目標を達成するために必要な援助が具体的に記述されていること、訪問時の状態をアセスメントするための観察項目が含まれていること、本人や家族の強みを活かすこと、社会資源の活用も考えられていること